



**江草 玄士**  
(えぐさ・げんし)

1950(昭和25)年広島県神石郡神石高原町生まれ。神奈川県・浅野高校から広島大学医学部に進学、卒業後は糖尿病・内分泌代謝研究を志し、第二内科に入局した。国立大田病院(鳥根県)研修を経て米国アリゾナ州NIH フェニックス臨床研究所留学、ビメインディアンのリポ蛋白動態解明に従事した。これをきっかけに脂質代謝研究に関心を強め、帰国後は疫学調査「ハワイ・ロサンゼルス・広島スタディ」に従事、ロス・ハワイ在住日系米人と広島県在住日本人を対象に脂質代謝・動脈硬化の面からアプローチした研究は高く評価された。ロス・ハワイスタディは、現在も後進によって調査・研究が続けられている。研究の成果は日本動脈硬化学会関係者との交流にも道を開き、多くの研究者の知遇を得るとともに、1997年度版『高脂血症診療ガイドライン』執筆者に名を連ねることになった。その後も、ガイドライン策定委員として改訂に携わり、『動脈硬化性疾患予防ガイドライン2017年版』でも執筆を担当している。1994(平成6)年、広島大学第二内科講師に昇格、2000(平成12)年、広島市中区八丁堀に「江草玄士クリニック」を開業、糖尿病、動脈硬化を中心に地域住民の健康づくりに取り組んでいる。2012(平成24)年、広島で開催された日本動脈硬化学会の動脈硬化教育フォーラムでは世話人を務めた。



聞き手

**渡邊 浩**

特定医療法人あかね会土谷総合病院内分泌内科